

※このチェックシートは本人事前確認用ですので、提出は不要です。
 ※確認のために適宜印刷して使用してください。提出時に事務所で書類不備のチェックは行いません。

日本学生支援機構 大学院第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除制度」チェックシート

I. 全般および「返還免除申請書」について(あてはまっていれば回答欄に○を付けてください)

質問内容	回答欄
申請用紙の様式は、HPからダウンロードした様式を守っており、一切変更していないことを、確認しました。※注1、注2 万が一、様式変更を行っている場合には、当制度の対象とならないことに同意します。	
様式は、別紙「Q&A」の「2. 申請用紙入力全般」に記載の内容にしたがって印刷しています。	
全ての項目を記入しました。 申請書の記入漏れがあれば、当制度の対象とならないことに同意します。	
「様式1-1」の表面にある、「記入上の注意」を熟読し、その通りに記載しました。	
「様式1-1」の表面にある、「氏名」欄は自筆署名しました。	
提出する業績は、現在在籍している課程で取得したのみです。 (修士課程の学生は修士課程で取得したのみ、博士後期課程の学生は博士後期課程で取得したのみ)。	
「業績一覧表」は両面印刷しています。	
全ての証明書類の1枚目に、「業績を証明する書類 表紙」を添付し、ホッチキスやダブルクリップ(バインダークリップ)でまとめました。 また、表紙右上の資料番号は「業績一覧表」の資料番号と一致しています。	
提出した全申請書類のコピーを取りました。	
一度提出した申請書類に対しての書類の追加、修正および返却は行わないことに同意します。	

※注1 書式変更の例外1→「研究又は教育にかかる補助業績の推薦書」の「1. 補助業務に従事した機関・資格名」記入に際し、罫線内に収まらない長い名称の場合、罫線の延長・増加をすることは可能です。
 書式変更の例外2→「特に優れた業績による返還免除制度」業績リスト【学位論文その他の研究論文(学外)業績者のみ】の2. 対象業績記入に際し、適宜、表の罫線を変更してもかまいませんが、A4版1枚(両面印刷可)で作成してください。
 書式変更の例外3→「業績一覧表(様式1-2)」記入に際し、行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いません。
 ※注2 文字のフォント、サイズに指定はありません。

II. 「業績リスト【全員必須】」(あてはまっていれば回答欄に○を付けてください)

質問内容	回答欄
全ての必要な項目を記入しました。 記入漏れがあれば、当制度の対象とならないことに同意します。	

III. 対象業績と必要書類(あてはまっていれば回答欄に○を付けてください)

1 学内の業績として、以下を申請します(1つ以上に○)。

業績の種類	評価項目	回答欄	回答番号	次の質問
1 学位論文その他の研究論文	① 学内の論文発表会・審査委員会等において高い評価を得た(小野梓記念学術賞、専攻賞等)		(1)	3へ
	② 【修士のみ】 修士課程の早期修了が認定されている		(2)	終了
	③ 【博士のみ】 在学中に博士の学位を取得した、もしくは、取得予定、あるいは、博士後期課程の早期修了が認定されている		(3)	6へ
5 発明	① 専門分野に関連する領域について、優れた技法、論理、理論等を構築した		(4)	8へ
6 授業科目の成績	① 【修士のみ】 申請時点で修得している科目のうち、修了に必要な単位における修得科目の成績に「A+」、「A」の占める割合が8割以上。 「F」評価の科目は単位数に含めない		(5)	9へ
7 研究又は教育に係る補助業務の実績	① リサーチアシスタントとして各種の研究資金・研究プログラム等へ参画した		(6)	10へ
	② ティーチングアシスタントとして学部実験・講義のアドバイス及び教育についての補助業務を積極的に行った		(7)	10、11へ
	③ 関連する分野において、学内での共同研究やプロジェクト研究等に参画し、中心的役割を果たした		(8)	10へ

2 学外の業績として、以下を申請します(1つ以上に○)。

業績の種類	評価項目	回答欄	回答番号	次の質問
1 学位論文その他の研究論文	① 論文が学会等において定期的に刊行される論文誌・学術雑誌等に掲載された(投稿中を含む)		(9)	3、5へ
	② 論文が国際会議等の論文誌(プロシーディングス)に掲載された(投稿中を含む)		(10)	3、5へ
	③ 研究会・全国大会・シンポジウム等で論文発表を行い、論文原稿が予稿集等に掲載された(投稿中を含む)		(11)	3、5へ
	④ 研究会・全国大会・シンポジウム等での発表を行った(パネルディスカッション、ポスターを含む。発表内容が予稿集等に掲載されていなくてもよい)		(12)	4、5へ
	⑤ 公共、民間等の機関においての発表を行った		(13)	4、5へ
	⑥ 依頼を受けて研究会・全国大会・シンポジウム・談話会等で講演・発表を行った(記念講演・特別講演等)		(14)	4、5へ
	⑦ 学会・財団等から褒章又は表彰を受けた		(15)	4、5へ
4 著書、データベースその他の著作物	① 公的に刊行された専門誌、図書、新聞、雑誌等に 筆頭著者 として掲載された		(16)	7へ
	② 公的に刊行された専門誌、図書、新聞、雑誌等に 共著者 として掲載された		(17)	7へ
5 発明	① 社会的に認知された発明コンテスト等で上位入賞を果たした		(18)	8へ
	② 専門分野に関連する領域について、特許あるいは実用新案・商品登録等を出願した		(19)	8へ
7 研究又は教育に係る補助業務の実績	① 産学連携等の学外連携プロジェクトに参画した		(20)	10へ

3 (1)、(9)～(11)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
評価を証明する書類(賞状のコピー、評価者による理由書(様式自由)等)と別刷り(リブリッツ、コピー)は添付されていますか？	

4 (12)～(15)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
業績を証明する書類(学会プログラム(表紙、目次、該当ページ部分のコピー)、賞状のコピー、評価者による理由書(様式自由)等)、依頼を受けた場合はそれが依頼されての講演・発表等であることがわかる資料(メール、レターのコピー)は添付されていますか？	

5 (9)～(15)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
「業績リスト【学位論文その他の研究論文(学外)業績者のみ】」は添付されていますか？ 投稿中である場合は投稿が受理されていることがわかる書類(メール、レターのコピー等)が必要です。 査読有りの場合、査読結果通知書を添付してください。 記入漏れがあれば、当制度の対象とならないことに同意します。	

6 (3)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
在学中に博士学位を取得予定である方は、主任会で論文受理審査が承認されていることを証明する書類は添付されていますか？	

7 (16)、(17)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
掲載されたことを証明する著書・新聞・雑誌(表紙、および出版社と出版日などが分かる部分のコピー、発行前の場合は掲載予定年月日と掲載予定内容の証明など)は添付されていますか？	

8 (4)、(18)、(19)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
証明する特許願(特許の内容、学生の氏名が確認できる部分のコピー)などは添付されていますか？	

9 (5)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
成績証明書(原本)は添付されていますか？	

10 (6)、(7)、(8)、(20)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
所定様式「研究又は教育にかかる補助業績の推薦書」は添付されていますか？	
所定様式「研究又は教育にかかる補助業績の推薦書」の「推薦人」欄は「3. 主務者(担当教員等)に含まれている方に直筆で記入していただいていますか？	

11 (7)と回答された方に質問です。

質問内容	回答欄
所定様式「研究又は教育にかかる補助業績の推薦書」の「2. 補助業務の具体的な内容および推薦理由」において、「採点を行った」「授業を行った」等の表現はありませんか？(この項目で対象となるのは、あくまで「補助」業務です)	

一度提出された書類は、返却いたしません。提出前に、再度不備がないか確認してください。

ここまで